



さくら通信 Vol.43



これは日本語を話しワシントン DC 首都圏に暮らす人々のコミュニティ、「さくら協会」の季刊ニュースレターです。
 日本から来て言葉や文化の壁を乗り越え、自分のアイデンティティを保ちながら、
 アメリカでの生活を築いてこの地域に溶け込んでいくのは、短期滞在であれ、永住であれ大変な作業です。
 そんな中で互いに助け合い、人との交流を広げていけば、
 ひとりひとりの生活が、もっと豊かになるのではないのでしょうか。

発行: さくら協会 編集担当: パークリー千恵、ガイス充子

P.O. Box 1694, Rockville, MD 20849-1694 ● ボイスメール: 202-310-1442 ● Eメール: info@sakuradc.org

Web サイト: <http://www.sakuradc.org>

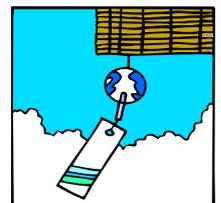
※ 目次 ※

- 肺がんの動向と研究最線.....2
- APAHTF のお祭りで日本舞踊.....10
- おかずのアイデア.....14
- スケジュールと報告.....16
- 大震災への支援のお願いと方法.....18
- 会員申込書.....19



またワシントンDCの暑い夏がやってまいりました。色々なところにお出かけになる時期ですが、今年は日本への一時帰国を控えるご家族も多いと聞きました。我々のように日本を離れて暮らしていても、やはり心情的に今までとは違います。思いっきり夏を楽しむ気持ちになれないのも仕方のないことでしょう。

日本では節電対策を会社ぐるみ、また町ぐるみで奨励していますが、なぜかここにも節電・節約しなくては、と思ってしまうのは今だからなのか、それとも「もったいない」が刷り込まれている日本育ちのせいなのか…。さわやかな日にはエアコンを切り窓を開けたいし、お天気の良いのに外に干さずに洗濯物を乾燥機に入れてしまうのはどうも違う気がする方も多いのでは。アメリカでは「グリーン」な暮らし方を謳っていますが、使い捨て容器のゴミの多さ、凍えるほどのエアコンの使い方を見ていると「？」と思ってしまう。これも1人1人の心がけ次第ですね。どうぞ元気に夏をお過ごしくださいませ。



岩手県陸前高田市からのお便り

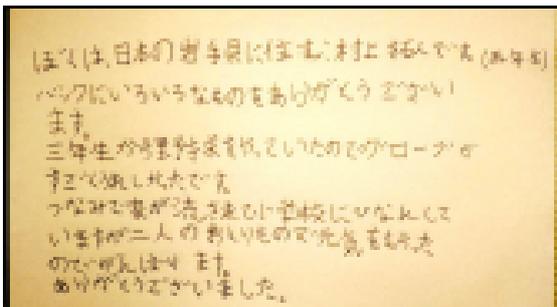
今回はフロリダ州タンパで発行されているキーライムニュースレターのご好意で、東北大震災の現状をより多くの人々に知ってもらい、より良いサポートが出来るようにさくら通信でもその一部を紹介させていただくことになりました。

「東北惨事の被災者の方への物資搬送を通じて、タンパベイ在住の日本人ご家族と、被災以来避難所となっている、岩手県陸前高田市に在る広田小学校で毎日の生活を営んでおられる方々との間に新しい絆が生まれました。タンパベイのお友達（Kさん）が送られた奨励の心づけは、「拓人くん」宛に届けられましたが、拓人くんとKさんとの交信は、双方のパイプラインとなって下さった村上さん（拓人くん & ご家族と避難所生活を共にされています）のおかげで続いています。次に記すのは、Kさんが私達とシェアして下さった、村上さんから送られたEメールと写真の数々です。」（キーライムニュースレター）

K 様

4月27日にメールを受信いたしました。
早速メールを印刷し、拓人君の家族にお渡ししました。
メールが届いたことを、また、返事が届いたことを、喜んでおりました。

拓人君からU様ご一家へのお礼状



広田小学校避難所の事を少し説明しておきます。
現在、陸前高田市立広田小学校には、小学校の1階に津波で家を流された人が約236人います。小

学一年生の教室だけが1階にあって、校舎2階では、小学生が141人勉強をしています。避難者のうち45世帯が津波で家を流されました。親を亡くされた児童は2名いるそうです。それから、広田中学校が津波で校舎が使用できなくなり、小学校の2階で授業を受けております。中学生全校生徒87名のうち、津波で家を流された生徒は24名、親を亡くされた生徒が7名いるそうです。グラウンドは、仮設住宅建設で、児童生徒が使用出来ない状態です。体育館も、救援物資の保管場所と本部が使用していて、児童生徒は使用できない状態です。
今回の津波で、児童・生徒が全員無事で、犠牲者が一人も出なかった事が本当に良かったと思いますが、親を亡くされた児童、生徒は、どれだけ悲しんでいることでしょう。本当につらいですね。陸前高田市は、岩手県で一番被害の多い所の一つです。市役所の有る高田町は壊滅状態です。建物が殆どありません。市役所も壊滅し、職員も多数死亡しました。（4月27日）

陸前高田市立広田小学校避難所 村上善彦



4月27日撮影 広田小学校から海を臨む

K様

4月28日の避難所の一を紹介します。

- 5時：起床。6時30分頃に朝食になります。
- 7時：仕事のある人は出勤、

- 7時30分：小学生の元気な声で、学校の日が始まり、中学生も8時30分から授業が始まります。
- 8時：グラウンドで仮設住宅の建築作業が開始。児童生徒は、給食が始まっているので教室で昼食をとっています。
- 午後3時：児童の帰宅が始まります。東京より婦警さんが10人ぐらいが帰宅する児童たちを自宅まで送っています。
- 午後5時頃：夕食
- 午後8時：消灯

これが、普段の一日です

休日は、救援物資の配給、全国からのボランティアの炊き出しなどがあります。ここ広田小学校も、避難生活をしている人の数も、だいぶ少なくなってきました。今日現在で、約140人ぐらいとの事でした連休明けからは、高田市内の仮設住宅も一部入居可能になるので避難所暮らしの人も少なくなるでしょう。速く仮設住宅に当選して移りたいですね。

さて、ご質問に答えます。

- 1) インターネットが使えるので電気は通っているのだと思っておりますが、水はどうなのでしょう。皆様は入浴は可能なのでしょうか。
 - 電気は、復旧しております。
 - 電話回線はまだ、復旧していません。
 - 携帯電話は、復旧して普段道理使えています。
 - この、インターネットは、携帯経由のインターネット(避難所本部のを使用しております)
 - ボランティア団体の協力により、無償でインターネットをしています。
 - 水、水道は当然ダメで、給水車のお世話になっています。
 - 全国市町村からの救援で派遣された、給水車が来て毎日給水をしてきています
 - 入浴は、避難所に2台設置されていて、まきで沸かす風呂です。(週1回入浴できます当番

制)その他に、自衛隊の入浴サービスも週2回あります。親戚の家での入浴に行く方もいます。震災当初は3週間ぐらい入浴ができない状態でした。岩手県内陸の温泉地や、自治体がバスで迎えに来て入浴させていただきました。

- 2) 温かい飲み物、食事をとることはできるのでしょうか。
 - 温かい飲み物は、取ることが出来ます。小学校の調理室で、プロパンガスを使ってみそ汁など暖かいものも出てきます。
 - 食事は、避難所のご婦人方が、当番で、用意しています。(うちの妻も一日おきにがんばっています)
 - ご飯は、自衛隊の方々が毎食、用意してくださっています。いち早く自衛隊が来てくださってずっと、テント生活で面倒を見ていただいております。本当にありがたいことです。今は、全国から支援物資が届いていますので、何とか大丈夫と思いますが、今後食糧がいつまで来るのか?、いつまで必要なのか?この点が本部の方が心配していました。

広田小学校周辺に咲く桜の花。校庭に建築中の仮設住宅が見えます。



- 3) 桜の花がとても綺麗にさいていました。。。気温は温かかくすごしやすくなっているのでしょうか。
 - だいぶ暖かくなってきました。
 - 夜は、石油ストーブをつけています。(昨夜は暖かかったのでストーブを消して寝ました)

- だいぶ暖かくなってきましたし、衣類は沢山いただきましたので寒さには、大丈夫と思います。

4) 特に不足されている物資のリスト、また、差し支えございませんでしたら、避難所の生活で、特に皆様がお困りのことなどございましたら、お聞かせください。

- この回答が一番難しい回答です。本部の方にもお聞きいただきましたが、今は、それほど不自由な事は無いそうです。ただ、やはり今後の食糧が安定的に届くのが気がかりなそうです。まず、医療については、被災時に緊急医療チームが来て、薬の手配をしてもらいました。診療所もあるので、薬については、大丈夫です。
- 歯科医も移動診療車で診療に来てくれました。
- メガネ店も老眼鏡や、コンタクトなど来ました
- くすり類も、薬剤師の方々が薬を持って来ました。
- 保健婦さん、赤十字の方々、作業ボランティアもきました。
- 靴、長靴、スポーツシューズ、サンダルも来ました
- 衣類もたくさん来ました。
- 洗濯機、自転車、ランドセル、等々も来ました。仮設住宅の備品については、エアコンとお風呂がついています。その他電気製品(7品)は赤十字社が全戸に設置するそうですし、市のほうも寝具などを用意するそうです。

小学校、中学校の回答待ちですが、私が意見を言うのは変な気がしますが、教育資金(育英資金的なものなど、児童生徒のためになるのが一番良いのではと思います。特に親を亡くされた子供たちが今後進学や、学習塾、習い事などにお金がかかると思います。子供たちの将来のためになるのが良いような気がします。それに、これから支給される災害援助金、義援金などは、被災者一人ひとりに、支給されるものではなく、世帯ごとなので、子供のいる家庭は、これから大変だと思います。

最後に、私の自己紹介をします。



村上善彦 牡蠣の仕事をしていました。

村上ペリータ(妻)フィリピン共和国

村上淳(釧路公立大学2年)

村上賢(高田高等学校2年)

村上宗夫(84歳父)

村上さつ(79歳母)

2000年までは、神奈川県でコンピュータのシステム開発をしていましたが、関節リュウマチで、妻の国フィリピン、マニラに移住しておりました。子供たちはマニラ日本人学校にいましたが、日本での進学を希望したため、2009年に岩手県陸前高田市広田町に戻ってきて生活を送っていたところでした。

K様の活動に感謝しております。あまり無理をしないで健康管理に気を付けてください。お子様のため、旦那様のため、お体を大切にしてください。(4月28日)

XXX 様

今日は天気晴朗。昨日は忙しくて返信できませんでした。今日は連休に入ったので、ボランティアの方々が訪ねてきました。午前中に東京から、お菓子、服、文房具、食料品、などを持ってきてくれた方がいて、好きなだけ、数量に制限なくいただけました。避難所の方々が喜んでいました。昼前には、東京から、とんこつラーメンの炊き出しが来ました。妻たちも昼食の用意をしなくてすむので、助かりました。午後からは、森昌子さんのが予定されています。全国の人々の、暖かい思いやりに感謝している毎日です。



4月29日の夕食



4月30日の朝食

昨日4月29日も、体育館で救援物資の支給がありました。被災者は午前で、午後は、自宅がある方たちにも支給されました。一人、衣服が5点、靴が1足までで、15分間で選ぶシステムでした。



救援物資の配布風景

昨日が震災から49日目でした。広田の私達の地区では、今日供養の法要が行われました。

午後、読売新聞社の記者 千葉支局 大森祐香さんが教室に訪ねてきて、拓人君の事を伝えたら取材したいと言われ、紺野さんの事を伝えました。メールアドレスも聞かれましたので教えました。

その後、拓人君に届いた写真の事やお手紙の事を聞いていました。もしかして、そちらにメールが届くかもしれません。ちなみに私達も被災いたしました。家も流され、拓人君と同じ教室で一緒に寝起きしています。現在この教室で寝起きしている人は、今日現在24名です。当初は35名もいました。同じ地区の人たちが、同じ教室に割振られて生活しています。

広田町は過去にも、津波の被害を何度か受けている所で、自主防衛組織が出来ていて、津波の時のために、食糧や毛布等の備蓄がありました。避難訓練も年1回は実施していて、地震が来たら、すぐ高台に逃げる意識は非常に高かったのですが、今回の津波の規模は

あまりにも大きく、広田でも犠牲者が出ました。私たちは、家族みな元気ですので、大丈夫です。

仕事も、以前神奈川県で仕事をしていたところより、誘いの連絡があり、仮設住宅に入居できた後に神奈川に単身赴任を考えております。私たち家族より、親を亡くした子供たちの将来のためにご活動ください。

本日、アメリカNYの岩手県人会の方(女性)が、一人で、広田小学校避難所にマッサージをしに来ました。彼女も、何か被災者のためにと、わざわざニューヨークから、一時帰国した、お年寄りの体をほぐしておりました。最後に、こちらからのメール、写真は、募金活動等に役立つことができれば、私もうれしいです。今後も、知りたい情報がありましたら、メールしてください。

お体を大切に、無理のないご活動をしてください。(4月30日)



まき割りはお風呂用とお茶、食事などに使うお湯を沸かすため、消防団がまき割をしています。使用している木材は、津波で壊された家の材料です。



左は、まき風呂の写真です。浴槽はステンレス製で、2基設置されています。

5月1日より広田半島の先に有る黒崎温泉が復旧再開できたので、お風呂の回数は多くなりました。



大阪府の堺市から派遣された、給水活動をして下さる方々。

この他にも、明石市、京都

府、千葉市など、沢山の給水車が活動してくれています。



小学校のトイレ用の水を用意するためのタンク(黄色)と、お風呂用の水をためておくためのタンク(青)です。

(5月1日)

K 様

今日の避難所の様子です。

今日は、岩手県立高田高等学校の始業式が一月遅れで行われました。(岩手県で一番遅い始業式です)生徒の犠牲者は、死者18名、行方不明者4名です仮校舎までは、スクールバスが運行されています。私のリュウマチ薬を頂くため、広田小学校内にある広田病院診療所に行きました。11時10分に行き診察が終わったのが午後2時でした。(連休で薬を求める人が多かったです。)待ち時間の間は、日本赤十字社のメンバーがお茶を出したり、話し相手をしていました。心のケアを目的に、昨日より、広田小学校避難所を診ているそうです。さすがプロで、聞き上手、話し上手でした、会話していると、気持ちが楽になりました。やはり、誰かに聞いてもらいたい、話したい、と思うのでしょうか。

こうしてK様にメールを書いていると、落ち着きますね。



本日より5日まで、広田小学校で、東北福祉大学の女子バレーボール部の方々が、マッサージや掃除などのボランティアをしに来ました。私たちの教室にも来て、マッサージをしてくださいました。私も、腰や肩が痛かったので、マッサージをしてもらいました。女子バレー部の方々の笑顔は、とても暖かいものでした。5月4日は、東京のほうから、バーベキューが予定されています。(5月2日)

K 様

今日の避難所の様子です。

まずは昨日のメール訂正から。。。岩手県立高田高等学校の犠牲者数が間違っていました。生徒6人死亡で教師1人を含む16人が行方不明です。すみません。岩手県全体で児童生徒計49人が死亡し、51人が行方不明だそうです。(5月3日毎日新聞岩手版)

今日は朝から広田小学校避難所は賑やかです。NHKの生中継全国放送から始まり、当初から広田小学校で支援活動をしていただいているチーム福井(福井県からの支援チーム)が、ひとときのお楽しみ復興支援プロジェクトをしています。(子供達のために、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、ポップコーン、綿菓子、輪投げ、等)それと、福井県から応援で、焼き鳥、焼きそば、ソー



セージ焼き、老眼鏡の提供、文房具の支給に来たJCIの方々(商工会議所の方々)がいらしています。

「きつず ふえすたin 陸前高田」で、忍者の格好をしたボランティア軍団が子供たちの相手をしてくれました。今日、1日は、お祭りのよう。子供たちの歓声が賑やかで天候にも恵まれ、良き1日でした。日赤のメンバーも、今日は、マッサージを行っています。(明日、戻られるそうです。)移動自動車でコーヒーショップに来てくれた人もいます。(広田には5回目です。特定非営利活動法人トータルケアセンターの方々に、静岡県浜松市からいらしたそうです。)東北福祉大学の女子バレーボール部の方々も、お祭り騒ぎでびっくりしていました。(5月3日)

K様

おひさしぶりです、今日は、仮設住宅に様子をお知らせいたします。実際の写真を添付しました。5月21日にうちの親が入居いたしました。(2DKサイズ) その時の写真です。



写真上: 5月21日に、うちの両親が仮設住宅に入る様子です。玄関は無く、各家庭では靴置き場に苦労しています。ひさしも短かいので、雨の日は、靴をうちの中に置かないと濡れます。



日本赤十字社からの支援物資の洗濯機と冷蔵庫です。



(左)流し、ガスコンロ、換気扇、二人分の食器、それから、日本赤十字社からの支援物資の炊飯器、電子レンジ、電気ポットです。



(右)二部屋あるうちの二部屋で、6畳の部屋です。日本赤十字からの支援物資のテレビがあり、各部屋にはカーテンが付いています。

(写真下)収納スペースです。奥行きが50cmくらい? 広さは一畳くらいですかね? 写真で判断して下さい。あとは布団セットが二組、タオルケット二枚、毛布二枚、シーツ、物干し竿等、色々を用意されていました。収納スペースはカーテンで仕切るようになっています。



その後、両親が必要とするものを、隣の大船渡市のショップまで買い物に行きました。食事するテーブルが無かったので、電気こたつ(カジュアル用の小さいタイプ)、衣類の収納ケース、(透明なプラスチックボックス)、電子レンジ、炊飯機などを置く台、アイロン、アイロン台、を買ってきました。他の入居者も同様な物を購入しています。スペースが狭いので、買い物もよく考えながら購入しています。

午前11時に処方箋を持って薬局に行く。

午後11時半:妻を迎える。

午後12時38分:賢(高校生)から迎え依頼の携帯メールが入る。

午後12時40分:迎えに行く旨の携帯メールを送る。

午後1時:高田のショッピングセンター「リプル」に着く。

賢のクラスメート(蒲生君)と一緒に連れて広田に帰る。

午後1時半:自宅に着く。父にカバンを渡すと気に入らず、返品することになり、私と、妻、淳(大学生)で、大船渡のマイヤ本店に車で向かう。

午後2時46分:緊急地震速報で携帯電話がウイウイと鳴り、同時に、ラジオから緊急地震速報が始まる。車のスピードを落として左端に車を寄せていると、凄まじい揺れが襲ってくる。電柱が左右に激しく揺れて、倒れそうでした。妻が倒れてくるから、逃げてと騒いでいました。まだ、地震がおさまらないうちに車を動かし、電柱から離れました。その時の風景は、SF映画のようでした。すごく長い間、揺れていました。その後すぐ津波が来ると思い、大船渡の高台(県立大船渡病院)をめざして車で逃げました。途中周りを見ると、人々が家から外に出て、道路に座り込んでいる姿をたくさん見ました。本当に凄まじい地震でした。震度6強でしたが、震度7に近いと思います。震度7が記録された場所が、すぐそばでしたから。

午後3時頃:大船渡病院に到着。大船渡病院では緊急体制の準備が既に始まっており、受け入れ態勢をとっていました。

3時20分過ぎ:大船渡湾の方を見て写真を撮っていました。



3時45分:携帯電話をしても駄目です。携帯メールも返事がない状態でした。とてつもない津波が押し寄せ始めて、広田は大丈夫か?ちゃんと避難所に逃げたかととても心配でした。その後、広田に戻ることにして広田方面の道路に出ましたが、火災や通行止め状態で戻る事が出来なくなりました。なので、遠回りの道ですが、内陸の道を使うことにしました。2時間以上もかけて内陸経由で高田方面に進みました。途中でがけ崩れがかなりあり、道に石ころが転がり、地割れの道も多くありました。

何とか陸前高田市の外れまで来たところ、気仙川沿いの道で津波が6キロもさかのぼっていて、高田を目の前にして、進むことが出来なくなりました。それからは、山道を色々なルートを走りながら、舗装されていない道を上がったり、下ったりして、何とか広田半島の入口までたどり着きました。そこでは、消防団が道路を封鎖していました。消防団に聞くと、広田半島は、島になっていて、広田には行けないと言われました。ほとんどの道は津波で壊されて通行できないと聞いて呆然としました。闇の世界で何も見えない状態でした。波の音が不気味に聞こえました。

たたずんでいると、そばの家の人のが炊出しで、おにぎりとかあんを持ってきて、そこに居た方に分け与えてくださいました。本当にありがたかったです。それから、妻が大船渡市末崎にある親戚の家は高台にあるので大丈夫でしょう、と言って、行くことにしました。何とか親戚宅に着いたら叔父が居て、末崎の家は津波で流されて、何も無いと言っていました。親戚の家は、地震で食器や戸棚が倒れたり、ガラスが散らかっていましたが、高台なので家は大丈夫でした。電気も、水道も、電話も、すべて使えない状態でした。ガスは、プロパンガスなので、何とか食事することが出来ました。余震で寝ることが出来ない中、一晩を過ごしました。

翌朝は早く、淳(大学生)と広田に行けるかどうか、道路状態を見にいきました。何とか、旧道が行けそうなので、戻り、朝食は、末崎中学校の避難所でいただき、広田

本部には、ボランティアの方が置いて行かれたノートパソコンがありますが、本部よりは有用な情報が出てきません。あるのは、イベントのお知らせのみです。津波の写真を送信するのに、一日かかる環境では、なかなか有用な情報を見ている時間も無いのが現状です。



広田高校 校舎 5月7日撮影

6月3日 陸前高田市立広田町学校 避難所内
村上善彦

* * * * *

今後もさくら協会では、被害者の皆さんの支援を続行すべく活動していく所存です。アメリカでは被災地の実態もあまり報道されなくなりましたが、現場でのこのような生活はまだまだ終わりが見えない状態のようです。小さなことでも、我々に出来ることをしていきましょう。

前回は掲載しましたが、もう一度こちらに送付先を載せますので、どうかよろしく願い申し上げます。

支援金送付方法

方法: 小切手にて郵送

小切手のあて先: [JCAW Foundation](#)

注意: メモ欄に、[Donation for Earthquake]と書いてください。さらに、「Sakura Association member」と書いてください。寄付は法令の範囲内で所得控除の対象になります。

送付先:

Japan Commerce Association of Washington DC
c/o Japan America Society of Washington DC
1819 L Street NW, Level 1B, Washington DC 20036

まるいち

日本の食料品
日本酒、ビール、ギフト商品

営業時間
11:00~7:00(月一土)火曜日定休
11:00~7:00(日&祝日)

1047 ROCKVILLE PIKE
ROCKVILLE, MD 20852
(301)545-0101
www.maruichiusa.com

居酒屋ぶるーおーしゃん

日替わりランチ、ラーメン、夜はお寿司、チヤンコ鍋、懐石料理、一品料理各種取り揃えてお待ちしております。

パーティ用のケイタリングも承ります。

9440 Main Street
Fairfax, VA 22031
Pickett Shopping Center
(703)425-7555
年中無休 www.izakayablueocean.com

 んな大騒動になったか、想像するに難くない。海岸にある原発を津波が襲う危険性も、津波が来たら冷却用の予備電源までやられてしまう可能性も、既に前から十分分っていたのに、それに対する備えがなかった東電は、水素爆発で建屋が吹っ飛び、誰の目にも事態の深刻さが明らかになってしまいうまで、それを認めようとしなかった。あれは大企業の尊大さとか、幹部と現場の認識の甘さの違いとかいうよりも、「常にとにかくその場その場を平穩無事に切り抜けること」がマネジメントの金科玉条とされている日本全体の文化の特徴が、たまたまあの場でも現れたに過ぎないという方が当たっているだろう。

太平洋戦争へ突入した過程だとて、この状況にそっくりで、良識ある当時の指導者達は、誰もがアメリカなどと戦争して勝てる訳がないことは知っていたのに、戦争へ向って押し流されていく「その場の状況」に、誰一人として逆らうことが出来なかった。それは戦後彼等が口を揃えて、「あの場で戦争に反対することなど、到底出来なかった」と証言していることにはっきりと示されている。東電内部でもまず間違いなく、最後の最後まで、「あの場でメルトダウンの危険性を口にする事など、到底出来なかった」という状況が、繰り返されていたに違いない。対策が後手後手に回ったのは、東電幹部が無能だったからではなく、むしろ逆に彼等が代表的な日本のマネジャーだったから、その反応も、彼等の文化が規定する通りの形になっただけに過ぎないと思う。政治家の反応が鈍かったのも同じことで、個人が無能というよりは、マネジメント・システムの構造自体が、不測の危機管理には向いていないのだ。みんなで協議して決めましょう、解決不能な問題は先送りしましょう、という文化の下で、あんな緊急事態に対して迅速な対応が取れる訳がない。

その意味で日本は我々が普段意識している以上に「セレモニーの国」である。問題の実質的解決よりも、

まずは「一所懸命努力しています」という姿勢や、見掛け、ジェスチャー、儀式、の方が重視される。今度のことに限らず、不祥事を起した企業は、とにかくまず幹部がテレビカメラの前で土下座して謝るのが通例になっている。そんなことをしてもらっても被害者には何の足しにもならないのに、必ずそのシーンが放映され、被害者自身も進んでそうしたジェスチャーを求める傾向がある。それどころか社長が泣いて謝れば、誰もが非難を控えることすらある。結果は何一つ変らなくても・・・。



政府要人でも、あの震災が起ってから、全員がナツパ服で出てくるようになったが、あれも彼等にとって、またそれを見る国民にとって、いかに「見かけ」が大事かを物語っている。いかにも今しがた血みどろの現場から帰ってきましてと言わんばかりに、全員が作業服を着て記者会見に出てくるが、そこで彼等が言うことの内容は、その格好とは全く無関係で、現場感覚も具体策もビジョンもなく、見てくれの臨戦態勢とは似ても似つかぬお粗末なものに過ぎない。官房長官などが発表する数字も、測定された放射能は何マイクロシーベルトだの、注入された海水量は何トンだのと、被災者にとっては何の参考にもならないようなものばかりなのに、言っている当人だけでなく、聞く方も何となく尤もらしい対策が取られているかのような気になって、誰もそれ以上追及することがない。実におとなしい国民だと言えばそれまでかも知れないが、統治する側から見ればこれほど御しやすい国民

もないのではないかと。

学者、記者、評論家を問わず、日本の専門家の発言は、多分にデータの集積に終始し、その意味する所を追求した分析や、判断、個人としての意見などが聞かれることは非常に少ない。これは日本では日頃から調査研究が「データを集める作業」と誤解されていて、「それを分析してその人なりの結論を出すこと」とは考えられていないからだろう。それどころかむしろそうした個人の意見は言わない方が、客観性が高く、専門的であるとすら思われているように見える。そういう状況だから、みんなが大いに学問を積んでいても、真に独創的な研究や発見は起り難く、殆どが誰か別の外国人が発見した現象を、更に追求し、改善し、完成させるような形の貢献しか出来ていない。日本が世界に「ついて行く」ことは上手でも、「リードする」のは下手な原因が、こんなところにも隠されているようだ。



原発事故のあと、東電と政府と御用学者とが組んだスクラムは、どこまで意図的なものだったか知らないが、私のような素人にも、あの学者達の言っていることが信用出来ないことは、一目瞭然だった。日本では今でも多くの医者が患者に直接癌を告知せず、まず家族に連絡するらしいが、ニュースに出てきた原子力の専門家達も、一様にまず患者を安心させようとはばかりあせっていて、言うことも外的なら、被災者に実際に参考になるような指示も、殆ど与えてはくれなかった。人によっては、「これがデータです。あとは皆さんで考えて下さい」と言っているのと変わらない学

者さえいた。それを平気な顔で放送しているNHKも無責任だと思うが、これも一つには国民自身が、学者様というそれだけで黙って彼等の意見を拝聴する傾向があるから、こんないい加減な事がまかり通るのだ。権威者なら権威者らしく、実際に我々の参考になる意見を持って来いと、国民が追求するような文化なら、学者側でもあそこまでのいい加減な態度は取れないだろう。これもまた、学者とか専門家とかいった肩書き、即ち「見かけ」だけが重視され、そういう先生のご意見を伺うという「セレモニー」に、必要以上の意味が与えられた文化だからこそ、起る現象に違いない。

然し更に皮肉なのは、こうした日本人の従順さ、おとなしさ、我慢強さ、甘さ、受身の姿勢、セレモニー指向、その場の平和優先主義、盲目的権威追従傾向・・・などが、正にあの国をあそこまで暖かく、平和で、住み易い場所に行っていることだ。あれだけ穏やかで、安心した暮らしを可能ならしめるには、それなりにみんなが少しずつ我慢をしなければならない。常にお互いがお互いに見張られているような息苦しさや、言いたいことも言えないじれったさ、ごまかされていることを承知で権威には従わねばならない無力感などは、いわば誰もが安心して暮すために払わねばならないコストであって、全体としての平和と安全を確保するために、長い時間をかけて日本人が築いてきたメカニズムの一部なのだ。アメリカに住む日本人の多くが、年をとるにつれてやがて日本へ帰って行くのも、ただ単に日本食が食べたいとか、日本の便利さを楽しまたいとかいうことだけではなく、どこまでも安心して暮せる、あの日本の優しさや暖かさが、恋しくなるからに違いない。

このようにアメリカにいる日本人がちゃんと知っている、日本の本当の良さ自体が、こうした大災害の時には、被害者を必要以上に不利な立場に追いやり、苦しめ、不当な我慢を強いることにもなっているとい

うこと、それを理解しなかったら、我々は本当に被災者の苦勞を理解したことにはならないだろう。優しく、おとなしく、甘く、寛容であるがために、彼等は人よりもっと苦しまねばならないという理不尽、この点までカバーしてかからない限り、災害援助のいかなる施策も不十分と言わざるを得ない。



今度はたまたまおとなしい人々が犠牲者だったから、政府も企業も、あそこまで手をこまねいていても、それほど非難されずに済んだのだ。あれがアメリカだったらどんなことになったかは言うに及ばず、仮に東京であったとしても、とてもあの程度の対応で事が収まったとは思われない。東南海地震が起るのは時間の問題なのだから、今こそ政府も、企業も、個人も、それぞれの地域の、文化的な強みと弱みを考慮に入れた救済と、次への準備に、全力を傾けるべきだし、それこそが、本当に我慢強い東北の人々に、本当に敬意を表することにもなると思う。(2011年5月)

木村 洋(きむら よう):

1942年生まれ。外務省4年、世界銀行25年、慶応大学2年、国連3年、勤務。2002年退職。ヴァージニア州フェアファックス在住。

日本語教室 四季

Japanese Center *Four Seasons*

Japanese Language Classes

For Children and Teens

年齢:8才～高校生

レベル:初級～上級

大人のクラスはありません



4900 Auburn Ave., Suite 211,

Bethesda, MD 20814

301-986-4942

www.jcfourseasons.com

ジャパン アソシエイツトラベル

旅行のことなら何でもご相談ください。

Japan Associates Travel

2000 17th St., N.W.

Washington, D.C. 20009

Tel: 202-939-8853 Fax: 202-462-9233

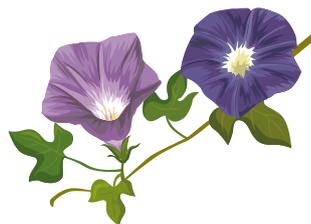
メール: jatravel@hotmail.com

そして！DC唯一の日本食料品店

ハナマーケット

を同じ住所で新規開店いたしました。

合わせてご利用ください。



和勤洋術

安くておいしくて簡単な健康食のヒント

塩麴

福島原発事故以来、放射能汚染の心配は、日本に住む人々に重くのしかかっています。そんな中で、発酵食品が注目を集めているそうです。長崎の被爆者を治療した医師が、患者に味噌を与えたところ放射線障害が大幅に緩和されたという事例が報告されており、チェルノブイリの時はヨーロッパで味噌が飛ぶように売れたとか。どうして効くのかはわからずとも、試してみても害はなく、高価でもなく、しかもおいしいのであれば、食材の汚染情報には十分に注意を払った上で、健康に良いと言われているものを試すに越したことはありません。

味噌、ヨーグルト、納豆などの発酵食品が健康にいいこと、身体の抵抗力を高めてくれることはつとに知られています。アメリカでもマクロビオティックなど健康食の実践者が、味噌や麴を利用しているそうです。そこで、麴。味噌や醤油、日本酒の醸造に欠かせない原料であることは知っていても、食材として活用している方は少ないでしょう。けれども先日、ひよんなことからインターネットで「塩麴」なるものの存在を知り、一部でブームであることも知り、きわめて便利に美味が生み出せることを知って、思い立って麴を注文し、始めてみたらもうやめられなくなりました。作り方と使い方は実に簡単。生乾き状態で売られている普通の麴に、塩と水を加え、10日ほど発酵させればできあがり。トロトロの粥状にできあがった塩麴は、タッパーに入れて冷蔵庫で何ヶ月でも保ちます。

◎塩麴の作り方:

- 大きめの蓋付き容器(タッパーなど)を用意します。発酵時は空気によく触れるよう、広口がいいようです。
- 麴 1kg に対して塩 300g の割合で加え、よくほぐしてなじませます。
- ひたひたになる程度に、水を加えます。
- 蓋は密封せず、軽く上に置くだけにします。室温に置きます。
- 毎日 1 回、全体をかき混ぜてガスを抜き、空気に触れさせます。最初の数日は吸水分の水を追加する必要があるかもしれません。
- 1 週間から 10 日程で麴の粒が軟らかくなり、発酵も完了します。あとは冷蔵庫で保存するだけ。

◎塩麴の使い方

- 大根や蕪(根も葉も)、にんじんやキュウリなど、適当に切ってビニール袋に入れ、塩麴をうっすらとまぶします。数時間~1 日で見事な麴漬けに。洗い流しても流さなくても。
- 鶏肉(手羽元など)や豚肉、鮭をビニール袋に入れて、塩麴をからめて 1 日マリネし、焼く。BBQ 等に抜群です。
- トマト系ソースや野菜炒めの味付けに。中華料理の隠し味に。ほっとするような旨味が生まれます。友人から聞いた、キノコ類を塩麴でマリネしてから野菜炒めに入れるのも、キノコがつるんとして美味でした。
- 「切り込み」: 私がいちばん感激した、ふるさと青森の味。刺身用の鮭、イカ、いずみ鯛、ホタテなどを刺身より細かめに刻みます(青森ではニシンや新巻鮭で作られています)。好みで赤唐辛子を刻んで入れます。塩麴で和えて、冷蔵庫で 1 日以上。すぐに食べたのではどうということもありませんが、2 日目、3 日目になると全体にねっとりとして、驚くような美味になります。白いご飯がいくらあっても足りません。まさかこれがアメリカで食べられるとは。(写真は鮭とイクラで作った切り込み。贅沢贅沢。)



何に加えても、自然な旨味と塩味と甘味が加わります。インターネットで「塩麴」と入れて検索すれば、他にも活用法が見つかることでしょう。ポイントは、かなり塩分があるので、使いすぎないこと。失敗があるとすればそれくらいです。ぬか床のように神経を使う必要はまったくありません。

麴は、アメリカでは入手しやすいとは言えませんが、日本食品店で注文したら数日で届き、思いのほか簡単でした。ぜひお試しください。

(越谷 恵子)

おかずのアイデア！

風変わり鶏鶏棒

鶏は電子レンジでチン！簡単で夏にはぴったりの1品です。

●材 料：鶏むね肉2枚、きゅうり1本、もやし1袋

<調味料>

酢大さじ2、醤油大さじ4、砂糖小さじ 1、ニンニクとショウガ(みじん切り)各小さじ2、長ねぎ(みじん切り)大さじ1

● 作り方

①鶏むね肉を厚いところに切れ目をいれ、酒(大さじ1)をかけ耐熱皿にラップをして電子レンジで5～7分程度加熱する。(時間は電子レンジのワット数による)

②もやしは軽くゆで、ざるに取る。きゅうりは細切りにする。

③調味料の材料を混ぜ合わせる。

④鶏が冷めたら1cm幅に切る。2、を器に盛って上に鶏肉を盛る。調味料をたっぷりかける。

◎ささみで作る時は加熱時間を少なめに。

レンジで作る中華おこわ

●材 料(4人分)

もち米2カップ、水1カップ、豚肉(ばら肉かたまり)200g、しょう油大さじ1、干しいたけ 3 枚、干しえび大さじ3、ぎんなん(水煮)50g、しょう油大さじ2、酒大さじ2、ごま油大さじ1、砂糖 小さじ 1

● 作り方

1、もち米は良く洗って、1カップの水と共に容器に入れ、約1時間つけておく。

2、豚肉ばら肉は小切りにし、大さじ1のしょう油を振りかける。干しいたけは戻してみじん切り、干しえびは戻す、ぎんなんはサッと水洗いして、酒大2、しょう油大2、ごま油大1、砂糖小1を加えて下味をつける。

3、深い耐熱容器に、つけておいたもち米としょう油を振った豚肉、下味をつけた具をいれ、フタをしてレンジで 15 分から 20 分加熱する。残り時間が5分ぐらいになったら取り出して1・2度かき混ぜる。

4、加熱が済んだら、もう一度かき混ぜ、乾いた布巾をかけ、フタをして約10分蒸らす。



さくらバス旅行のご案内

ニュージャージーへお買い物

この秋も、ご好評につきましてバス旅行を企画いたしました。自分で運転していくのはなかなか大変ですので、らくちんにおしゃべりしながらお買い物に行きませんか。



ハドソン川沿いにある大型日本食料品店「ミツワ」ツアーです。豊富な日本野菜やお魚、また生活用品などいろいろなありま

すので、ぜひクーラー持参でお出かけください。ミツワ店内にはフードコートもあり、日本の味が楽しめます。同じ一角には書店や雑貨店などもあります。プチ日本を1日楽しみましょう。

日時：10月16日(日曜日)朝7時ごろロックビルより出発予定。お買い物や食事を楽しんだ後、帰路につき夜7時ころ到着予定。

参加料金はバス代になりますが、まだ参加人数が未定のため詳細は後ほどお知らせいたします。ご興味がありましたら、八木葉子(301-983-1790)までご連絡くださいませ。



さくらポットラック懇親会のご報告

去る6月5日12時より、ポトマックコミュニティセンターでさくらポットラックパーティーとミニバザーを催しました。約40名の会員の方々及びお友だちがご自慢の一品をお持ちくださり、和気藹々のうちにお食事、エンターテインメント、バザーの品々



のお買い物を楽しみました。エンターテインメントでは、日舞(さくらさくら)、大正琴伴奏による歌(知床旅情、瀬戸の花嫁、シャボン玉、ドレミの歌、エーデルワイス)、盆踊り(チャンチキおけさ)などをご披露しました。



またミニバザーでは、太巻き、赤飯、栗饅頭、シュークリーム、ラムケーキ、子供用おやつ類、またハンドバッグ、置物、飾り物などの家庭用品が飛ぶように売れ、結果586ドルの売り上げとなりました。ご協力有難うございました。売上金は今後のさくら協会の運営資金とさせていただきます。この他商品券(まるいちさま)、お食事券(ブルーオーシャンさま、タコグリルさま、Cracket Barrel さま)そして沢山のお米やマンゴジュースなどをJFC さまよりご寄付いただきました。有難うございました。紙面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。



このポットラックパーティーにご参加下さいました会員の皆様にお礼を申し上げますと共に、今後とも引き続きのご支援をお願い致します。それではどうぞ良い夏をお過ごしくださいませ。(二宮スポールディング陽子)

姿斉教室—中庸姿勢から姿斉(しせい)教室に名称が変わりました。www.shisei-planet.com

講師・スチュアート純子(240-839-7424)

場所・講師宅にて 毎週木曜日11時~12時

Eメール・junkostuart@gmail.com

●以上参加費—会員1回5ドル、非会員1回7ドル
参加ご希望の方は各講師までご一報ください。

スケジュール

編み物教室

場所: 4900 Auburn Avenue, Suite 211, Bethesda, MD 20814 (日本語クラスのフォーシーズンズがある所)

日時: 隔週の火曜日 10時から12時

講師: 前嶋明美 (301)330-1238

maeshima@asanocpa.com



参加費: 会員 8 ドル、非会員 10ドル

持ち物: 残り毛糸やほどいた毛糸など。編み棒はこちらで用意します。



参加ご希望の方は講師までご連絡ください。

フラダンス—講師・スポールディングニ宮陽子

場所・講師宅にて 毎週金曜日11時~12時

電話・(703-569-3625)

Eメール・yspalding@earthlink.net

日本刺繍—講師・八木葉子(301-983-1790)

場所・講師宅にて

Eメール・ yagi.yoko@comcast.net

🌸 さくらランチグループ 🌸

4月15日のさくらランチはベセスダの Tako Grill でした。このたびは集まった人数はこじんまりと 8 人でした。皆さんが選んだ料理はやはり多数がちらしでお弁当、そして魚の定食の順でした。ちらしは \$13.50 で金曜日は魚の仕入れのすぐ後だからなのか、ちらしのたねの種類が豊富に感じました。すし飯が少々固めかなと思いましたが、新米の水加減がなかなか決まらないとか、でも食後感は美味しく、ああ満足でした。お弁当は \$15.00、仕切りのある大きな四角い入れ物の中に最初に目に飛び込んでくるのがてんぷら、海老が2つ、かぼちゃやその他の野菜が何種類か、てんぷらは衣がパリッとしております、カリフォニアロール、サラダそして野菜のおかずが2~3つ、さらにお味噌汁がつきますので結構盛りだくさんです。

お魚定食は \$10.00、焼いた魚 ORANGE ROUGHY はマイルドな味でなかなか美味しいとのこと。ちょうど良い具合に焼けていたそうです。それに野菜が少々ついてカリフォニアロール、ご飯、お味噌汁で小食の方には丁度よい量のように。年とともに胃袋も小さくなるのかデザートまで手がとどきませんでした。



次回のランチはフェアファックスの「ぶるーおしゃん」
です。

日時：9月9日(金)12時から

場所：ぶるーおしゃん

9440 MAIN ST. FAIRFAX, VA 22031

TEL(703)425-7555

参加ご希望の方は、9月6日までにリンカー
(301)977-7134 までご連絡くださいませ。

さくら学園の報告

桜の満開と時を同じくして、2011年4月2日土曜日に年少13名・年中14名を迎え、今年度のさくら学園入園・始業式がアッシュバートン小学校にて行われました。初めての点呼では今年度から年少組担当として着任された杉山カズミ先生、昨年度より引き続き年中組を担当されるエバンス敏子先生が在園児全員の名前を一人一人読み上げ、新入園の年少の子供たちは少し緊張気味に、お兄さん・お姉さんになった年中の子供たちは大きな声で「はい！」とお返事をして子供達のさくら学園での生活が始まりました。

最初の数週は新しい環境に戸惑い、なかなか保護者の方と離れられない年少の子供たちもいましたが、5月中頃からは手遊びや日本語の歌、ユニークで楽しい「子供体操」、花いちもんめなどを取り入れた、杉



山先生の「楽しみながら日本語や日本文化に親しむ」保育を通じて、少しずつ園生活に慣れていきました。また年中の子供たちは、ひらがな、そしてエバンス先生お手製の季節・天気・曜日・動物の名前などの文字が書かれたボードや様々な種類のフラッシュカード、楽しい音楽を使って目と耳で楽しく学習して

います。また5月の第一週には年少・年中組それぞれに新しい園児が加わり総在園児数が30名となりました。



一学期の大きな行事の一つであり、Weaton Regional Parkで行われる予定であった5月14日の遠足は雷雨の予報を受けて残念ながら中止となってしまいましたが、もうひとつのビッグイベントである夏祭りでは、保護者の方々の綿密な計画・準備により、大成功で終わることができました。アメリカ生活では接する機会のない、お神輿担ぎや盆踊りなどの日本の伝統文化を体験したり、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい、お面作りなど日本の縁日の雰囲気を楽しんだり子供達だけでなく保護者も一緒に初夏の一日を満喫しました。

また恒例の保育のワークショップでは、親子での会話や読み聞かせの重要性、テレビやインターネットの活用法についてや、日本語及び日本文化を学ぶことによる「アメリカで育った日本人」としてのアイデンティティーの確立について、また、一言語の深い理解の確立と第二(及び第三)言語習得との関係性など、英語の環境の中でどのように子供たちに日本語と日本文化を伝えていくのかについて先輩方の様々な経験談を聞かせていただきました。

6月11日の保育を最後に、さくら学園も夏休みに入ります。また9月に皆が元気に再会し、さくら学園に来る土曜日が楽しみになるような保育を提供できるよう2学期も精一杯励んでまいります。

さくら学園園長 小玉 順子

ワシントンDCエリア 夏のイベント

Concert in the Square ロックビル

既に始まっていますが、8月25日(木)まで毎週木曜日の午後6時より8時 Rockville Town Square にて無料コンサートが行われています。ジャズやブルース、80年代の音楽など色々な音楽が生演奏で楽しめます。詳しくは、240-314-8620 または <http://www.rockvillemd.gov/events/square.htm> でご確認ください。

ストラスモア音楽堂 ベセスダ

恒例の Strathmore 夏の野外フリーコンサートがあります。6月22日(水)から8月24日(水)まで毎週水曜日の午後7時より行われます。お天気により予定が変わることもありますので、詳しくは、301-581-5100 またはストラスモアのウェブサイト <http://www.strathmore.org/eventstickets/festivalspecialevents.asp> でご確認ください。

ダウントウンシルバースプリング

Silver Spring Swings Summer Concert Series 2011 シルバースプリングでも7月7日(木)から7月28日(木)の毎週木曜日午後7時より Civic Building の Veterans Plaza にて無料コンサートが行われます。詳しくは、 <http://www.silverspringdowntown.com/event/summer-concert-series> でご確認ください。

また毎週土曜日の朝9時から午後1時までファーマーズマーケットも開催されていますので、地元の野菜や果物など新鮮なものが手に入ります。

夏にしか楽しめない様々なイベントがありますので、ぜひご家族でお出かけください。



さくら学園は、保護者が運営する日本語幼稚園です。各クラスには専任教師がおり、持ち回りで保護者がレッスンやイベントをサポートしています。毎週土曜日午前中に、メリーランド州モンゴメリー郡の公立小学校を借りて活動しています。(現在はAshburton Elementary Schoolに移動)。バージニア州やDCからも通園しやすい場所です。入園をご希望のご家庭は www.sakuradc.org/kinder/ をご覧の上、Eメール(yochien@sakuradc.org) にて、お気軽にご連絡ください。

さくら協会年次総会のお知らせ



さくら協会では年に1度、日ごろの活動の報告、会計報告、また今後の予定などについての相互の意見交換の場所として、年次総会を持つことにしています。会員の皆様はどなたでもご自由に参加できますので、ご意見、ご興味がおありの方はぜひお越しください。

2010年9月10日(土)午後1時~3時
ポトマックコミュニティセンターにて

承認懸案事項

- シニアハウス設立のため会員よりお預りしている積立金の使途見直し
- 新理事、新役員の承認とご紹介

❀ 会員を募集しています ❀

さくら協会は、発足12年目の非営利団体(NPO)です。このニュースレターをお読みになって、趣旨にご賛同いただけましたら、ぜひご入会ください。さくら協会では、日本人、日系人同士の交流と相互補助、地域コミュニティとの親和を目指して、3歳から5歳児のためのさくら学園、毎月のランチグループやお料理教室が楽しめるカルチャー部門、三味線や尺八などのエンターテイメント、年4回発行のさくら通信、健康や教育に関するセミナーなどを提供しています。

メンバー年会費(4月~3月)は25ドルです。アメリカ国外に在住の方は、郵送料が高額のため、35ドルとさせていただきます。会員には、イベントやセミナーのお知らせを随時メールなどでご連絡し、「さくら通信」を郵送でお届けします。また、さくら学園、シニアネットをはじめとした各種アクティビティへの参加が可能です。

入会ご希望の方は下記の申込書をご記入の上、**Sakura Association, Inc.** 宛てのチェックとともに、

Sakura Association, Inc.

P.O. Box 1694, Rockville, MD 20849-1694 までお送りください。

✂️ *****きりとりせん*****

会員申込書

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

新規会員 **継続会員(いずれかに丸)** * 活字体でお願いいたします。

氏名(英語): _____ (日本語名): _____

住所: _____

電話番号: _____ FAX 番号: _____

FAXは自動受信ですか?(いずれかに丸) 自動受信可 切替必要

Eメールアドレス: _____ 日本語のメールは? OK 読めるだけ 不可

同封金額: _____ドル

さくら協会を何で知りましたか? さくら通信 Web サイト 友人 その他()

よろしければあなたの年齢層をお教え下さい。 20代 30代 40代 50代 60代 70代+

シニア向けの活動を電話連絡してほしいですか? はい いいえ

よろしければ出身地(都道府県)を教えてください()

Sakura Association, Inc. 宛ての\$25(アメリカ国外在住の方は\$35)の小切手を添えて、
P.O. Box 1694, Rockville, MD 20849-1694 までお送りください。さくら協会は非営利団体(non-profit organization)ですので、会費は米国所得控除対象となります。ご寄付も歓迎致します。よろしければ今回、ご寄付の金額を加算したチェックをお送りください。(年会費は4月から翌年3月末までの1年間有効です。但し、1月から3月の間にご入会の場合に限り同年4月からの年会費が免除になります。)

～さくら協会はこんなところ～

地域で役に立つ情報がいっぱい!

さくら学園で、こどもと楽しくいっしょに学べる!

一緒に、人のためになること、やってみない?

あたらしい友だちが増えるかな?

日本人がアメリカで助け合うって大事なことのね。

たまには、こういうのもおもしろいかな。

ためになるセミナーもあるのね。

詳しくは、このニュースレターをご覧になるか、お近くのさくら協会のメンバーにお尋ねください。

Web サイト: <http://www.sakuradc.org> Eメール: info@sakuradc.org 電話: 202-310-1442(ボイスメール)まで。

Sakura Association, Inc. P.O. Box 1694, Rockville, MD 20849-1694

さくら協会のご紹介

さくら協会は、1997年に設立された CUGI (Citizens United in Global Interest) を前身として、2000年9月に新しい団体として発足しました。日本語を話し、ワシントン DC 首都圏に住む人々を中心に、日本人・日系人同士の交流と相互補助、地域コミュニティとの親和を目指して、異文化での子育てやシニアライフ、日米文化交流のための活動を展開しています。会員の皆さまのために、新年会、見学会、小旅行、セミナー、ランチオン、バザーなどの各種イベント、フラダンスやブリッジなど各お教室を日本語で開催しています。